

「特別の教科 道徳」 指導の手引き

「特別の教科 道徳」では、「考える道徳」、「議論する道徳」への質的な転換を図ることが大切だと言われています。

どのような指導をすればよいのでしょうか。



道徳教育では「多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢」を養うことが大切だとされているね。

「特別の教科 道徳（以下、道徳科）」の授業では、発達段階に応じて、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題として捉え、向き合うような授業が求められているよ。



そのためには、質の高い多様な指導方法のイメージ※として例示されている指導方法を取り入れたり、組み合わせたりしていくと効果的だね。けど、その中で、どんな工夫ができるのかな？



道徳科における質の高い多様な指導方法について（イメージ）

	読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習	問題解決的な学習	道徳的行為に関する体験的な学習
ねらい	×	○	×
具体的内容	<p>教科の登場人物の行動や心情の理解を深め、その背景にある価値観や考え方を理解する。</p> <p>登場人物の行動や心情の理解を深め、その背景にある価値観や考え方を理解する。</p>	<p>問題解決的な学習を通して、道徳的な問題を多角的に捉え、解決策を模索する。</p> <p>問題解決的な学習を通して、道徳的な問題を多角的に捉え、解決策を模索する。</p>	<p>道徳的行為に関する体験的な学習を通して、道徳的な価値観や考え方を理解する。</p> <p>道徳的行為に関する体験的な学習を通して、道徳的な価値観や考え方を理解する。</p>



これらは一例であり、指導の型を示すものではありません。教師が道徳科の趣旨をしっかり把握した上で、学級の実態を踏まえ、授業のねらいや指導の意図に応じた適切な指導方法を選択し、多様な工夫を取り入れていくことが重要です。



学習指導過程における留意点



一般的に基本とされている
「導入」「展開」「終末」の
役割を確認しましょう。



展開は「展開前段」
と「展開後段」に必
ず分けないとけな
いの？

道徳科の学習指導
過程には決まった型
のようなパターンが
あるの？

導入は、主題に対する児童生徒一人一人の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に自己を見つめる（人間としての生き方についての自覚に向けて）動機付けを図る段階です。（ ）内は中学校

問題意識※を
もたせることが
大切です。



※ 道徳科における問題とは道徳的価値に根差した問題であり、単なる日常生活の諸事情とは異なる。

展開は、中心的な教材によって、児童生徒一人一人が、ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に、自己を見つめる（物事を広い視野から多面的・多角的に考え、道徳的価値や人間としての生き方についての自覚を深める）段階です。（ ）内は中学校

学習を深める
工夫が大切
です。



終末は、ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめたり、道徳的価値を実現することのよさや難しさなどを確認したりして、今後の発展につなぐ段階です。

終末も多様な
工夫が考えら
れます。



ポイント

- 一般的には、上記の3つの段階を設定することが広く行われています。
- 特に決められた形式はありませんが、教師が3つの段階の役割を理解し、学級の実態や教師の指導の意図、教材の効果的な活用などに合わせて弾力的に扱うなど、工夫することが大切です。



指導方法の工夫（7つのヒント）



道徳科の授業では
どんな工夫が効果
的なの？

道徳科には特質があり、
特質を理解した上での
指導の工夫が大切です。



道徳科の授業で指
導を工夫するときに
大切にすべきことつ
てなに？

道徳科の特質

道徳科には、**児童生徒一人一人が**、ねらいに含まれる一定の道徳的価値についての理解を
基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）
生き方についての考えを深める学習を通して、**内面的資質としての道徳性を主体的に養って
いく**という特質があります。（ ）内は中学校

指導方法の工夫（7つのヒント）

1 教材を提示する工夫

児童生徒の興味や関心を高めたり、想像を膨らませたりして、道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題として捉えるために…。

2 発問の工夫

自分との関わりで道徳的価値を理解したり、自己を見つめたり、物事を多面的・多角的に考えたりするための思考や話し合いを深めるために…。

3 動作化、役割演技など表現活動の工夫

感性を磨いたり、臨場感を高めたりすると共に、表現活動を通して自分自身の問題として深く関わるために…。

道徳的価値についての共感的な理解を深め、主体的に道徳性を身に付けることにつなげるために…。

4 話し合いの工夫

児童生徒が友達の考え方についての理解を深めたり、自分の考えを明確にしたりするために…。

5 書く活動の工夫

児童生徒が考えを深めたり、整理したりするために…。また、活動に必要な時間を確保し、児童生徒が自分自身と向き合うために…。

6 板書を生かす工夫

思考を深める重要な手掛かりとするために…。また、教師の伝えたい内容を示したり、学習の順序や構造を示したりするために…。

7 説話の工夫

道徳的価値をより身近に感じ、一層主体的に考えられるようにするために…。また、思考を一層深めたり、考えを整理したりするために…。

次ページから7つのヒントについて、詳しく解説します。

ポイント

- 道徳科の特質を理解した上で、学習活動の様々な場面で、ねらいの達成に向けた学習指導を工夫しましょう。

児童生徒への教材の提示の仕方は、範読だけじゃないの？

教材を提示するときの留意点って何かあるの？

ヒント①

教材を提示する工夫



読み物教材では、一般的に教師による範読が行われています。その際、範読を人形劇のように行ったり、教材の内容を補足する資料を提示したりなど、**教材の提示の仕方を工夫**するとうでしょう。

教材の提示の仕方を工夫することで、児童生徒の興味や関心を高めたり、想像を膨らませたりして、**道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題として捉えやすくなる**かもしれないね。



教材の提示の仕方には、どんな工夫があるの？

多くの情報を提示すればよいというわけではなく、**精選した情報の提示が想像を膨らませ、思考を深める上で効果的**な場合もあることに留意しなければなりません。

【教材を提示する工夫例】

- ◆大型絵や紙芝居
- ◆パネルシアター
- ◆紙芝居の形での提示
- ◆テレビやプロジェクターを用いた拡大提示
- ◆実物や写真の提示
- ◆教師や協力者などの演示や演技による提示
- ◆地域の方の語り聞かせ
- ◆影絵、人形やペープサートなどを生かした劇のような提示
- ◆音声や音楽の効果、ビデオなどの映像を生かした提示

ポイント

- 児童生徒の発達の段階や教材の特質※を踏まえた上で、教材や学習指導過程に応じて、適切な指導方法を選択しましょう。
- 教科書等の情報を提示する際には、児童生徒にとって想像を膨らませ、思考を深める情報を精選することが大切です。

※ 例えば、伝記、実話、意見文、物語、詩、劇といった多様な形式、文章の構成、文脈など

道徳科の発問には
どのようなものがあるの？

道徳科の発問は
どのような手順で
構成していけば
よいの？

ヒント ②

発問の工夫



児童生徒の思考を予想し、それに沿った発問の構成を心がけることが大切だと言えるね。

①考える必然性や切実感のある発問、②自由な思考を促す発問、
③物事を多面的・多角的に考える発問なども大切だね。

発問の具体的な例を教えてください？

下記の工夫例を参考に、また、①②③については、
発問を考える際の視点とし、多様な発問を構成してみ
ましょう。

【発問の工夫例】

- ◆ どうして主人公は、○○という行動をとることができた(できなかった)のだろう。
- ◆ 主人公はどういう思いをもって△△という判断をしたのだろう。
- ◆ 自分だったら主人公のように考え、行動することができるだろうか。
- ◆ ここでは、何が問題になっていますか。 ◆ 何と何で迷っていますか。
- ◆ なぜ、□□(道徳的諸価値、例えば「善悪の判断」)は大切なのでしょう。
- ◆ どうすれば□□(道徳的諸価値、例えば「正直」)が実現できるのでしょうか。
- ◆ よりよい解決方法にはどのようなものが考えられるでしょう。
- ◆ 同じ場面に出会ったら自分ならどう行動するでしょう。
- ◆ なぜ、自分はそのように行動するのでしょうか。 など

発問を構成する場合には、まず授業の
ねらいに深く関わる中心的な発問を考え、
次にそれを生かすためにその前後の発問
を考え、全体を一体的に捉えるようにする
という手順が有効な場合が多いです。

ポイント

- 児童生徒の思考を予想しながら発問を構成しましょう。
- 学級の実態や教材の特質、主題やねらい、また、児童生徒の発達段階や教師の意図等を踏まえながら発問を構成することが大切です。
- 児童生徒が自分との関わりで思考を深めたり、話し合ったりする鍵となる発問を心がけましょう。

ヒント 3



動作化、役割演技など表現活動の工夫

児童生徒の表現方法には発表や書く活動以外に何かあるの？

動作化や役割演技などを取り入れるときに気を付けることは？



動作化や役割演技などを授業に取り入れると、児童生徒が生き生きとした表情を見せてくれます。

しかし、ただ楽しければよいということではありません…。

指導のポイントとしては、児童生徒が**伸び伸びと表現できるような配慮**をしたり、**日常生活の指導の中で表現活動に慣れさせたり**することが大切です。

これらの活動を取り入れる際には、**単に興味本位に流れず、道徳科のねらいを達成できるように**することが大切です。

そのためには、**活動を取り入れる目的やねらいの達成の見通しをもち、場面設定を明確にしておく**ことも忘れてはいけないポイントですね。

何でも自由に表現できる学級の雰囲気が鍵になりそうですね。



[動作化、役割演技など表現活動の工夫例]

- ◆ 特定の役割を与え即興的に演技する役割演技
- ◆ 動きやせりふをまねて理解を深める動作化
- ◆ 実際の場面の追体験や道徳的行為などをしてみる
- ◆ 実験や観察、調査等による表現物を伴った学習活動 など

ポイント

- 活動の目的やねらいの達成の見通しをもち、場面設定をしっかりと行い、児童生徒がのびのびと表現できるように配慮することが大切です。
- 道徳科の授業だけでなく、日常の指導においても何でも自由に表現できる学級の雰囲気を創るよう心がけましょう。

道徳科で話し合いを効果的に行うポイントって？

道徳科の話し合いには、どんな工夫があるの？

ヒント 4

話し合いの工夫



考えを出し合う、まとめる、比較するなどの目的に応じて効果的に話し合いが行われるよう工夫することが大切だね。

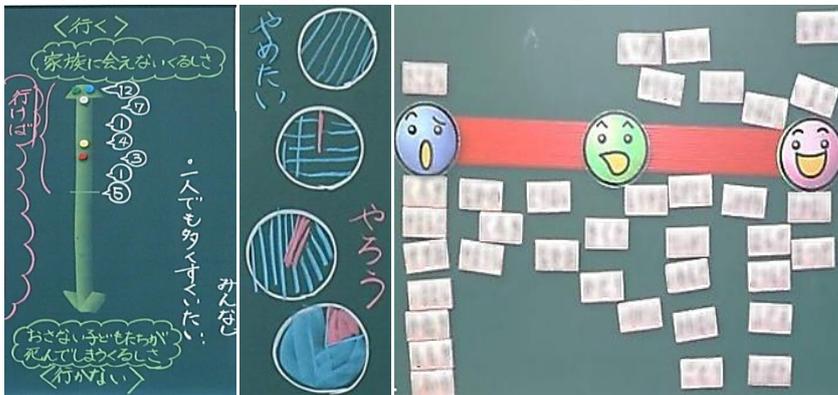
それじゃ、座席の配置を工夫したり、討議形式を進めたり、ペアでの対話やグループによる話し合いを取り入れたりするなどの工夫もするといいね。



[考えを深める話し合いの工夫例]

- ◆ 心情円、思考ツールなどで考えを視覚化しながらの話し合い
- ◆ 意図的指名を生かした話し合い
- ◆ ネームプレートを活用し、考えの立場や気持ちの種類を明確化しながらの話し合い など

心情円やネームプレート等を活用し、立場等を明確にしたり考えを視覚化したりする工夫

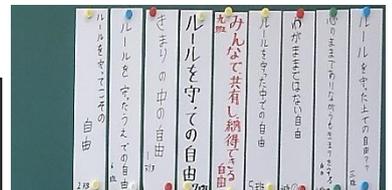
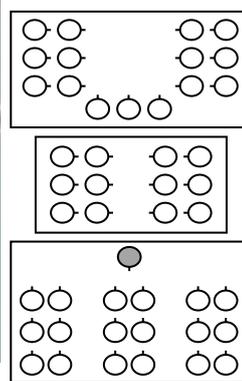


<思考ツール>

<心情円>

<思考ツールとネームプレート>

座席配置の工夫のバリエーション



みんながOK. と思えること
自分だけの自由じゃダメなこと..
自由にしたい ← ルール ← 今日学習で考えたこと

少人数での話し合いの結果を黒板に貼り、全体でさらに話し合う工夫

ポイント

考えを深める話し合いの効果を一層高めるには・・・

- 教師が適切な指導・助言を行いながら、話し合いを効果的に展開し、児童生徒一人一人の道徳的なものの見方や考え方を深めていくようにしましょう。
- 話し合いの形態を固定化したり、形式化したりすることなく、学級の実態や発達的特質、教材の特質、他の教育活動との関連などに応じて工夫することが大切です。
- 児童生徒の多様な感じ方や考え方を引き出すことのできる学級の雰囲気をつくっていくことが大切です。

書くことで
思いや考え
整理して
自分自身を
見つめる私…



ヒント⑤

書く活動の工夫

他の教科でも書く活動が大切だと言われるけれど道徳科も同じなの？

「かく」と言っても、文字の他にどんな「かく」があるの？

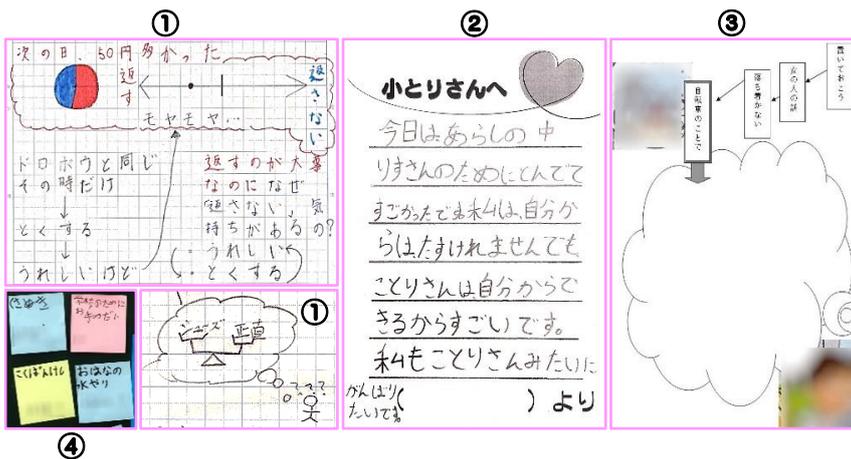
書く活動は、**学習の個別化を図り、児童生徒の感じ方や考え方を捉え、個別指導を行う重要な機会にもなりますね。**

さらに、一冊にとじられたファイル(ノート)などを活用することによって、**児童生徒の学習を継続的に深めていくことができ、児童生徒の成長の記録として活用したり、評価に生かしたりすることもできますよ。**

※道徳科 評価の手引き(小学校版・中学校版)は、宮崎県教育庁義務教育課 HP よりダウンロードできます。
 ※教育ネットひむか (<http://himuka.miyazaki-c.ed.jp/>) トップページ下部にある「義務教育課トップページ」(<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/gimu/htdocs/>) からアクセスできます。
 ※ログインの際の ID と Pass については、管理職に御確認ください。

【書く活動の工夫例】

- ◆ 絵や記号等がかく形式①
 - ◆ 登場人物などに向けた手紙の形式②
 - ◆ 挿絵に吹き出しを添えた形式③
 - ◆ 付箋紙に書きためていく形式④
 - ◆ 自己評価欄を置いた形式 など
- ※書く活動は重要な場面に絞り込み、記述内容を生かす工夫も大切です。



ポイント

- 児童生徒が自ら考えを深めたり、整理したりしやすくするように、吹き出しを添えたり、手紙の形式にしたり等、多様な工夫を取り入れてみましょう。
- 文章表現だけにこだわらず、絵や記号等がかかれた内容からも児童生徒の感じ方や考え方を捉え、評価に生かしていくことが大切です。

道徳科で板書を生かすにはどうすればよいの？

道徳科の板書は縦書き？横書き？どっちが正しいの？

ヒント⑥

板書を生かす工夫



板書の機能を生かすためには、思考の流れや順序を示すような順接的な板書だけでなく、**教師が明確な意図をもって違いや多様さを対比的、構造的に示したり、中心部分を浮き立たせたりするなどの工夫**をすることが大切です。

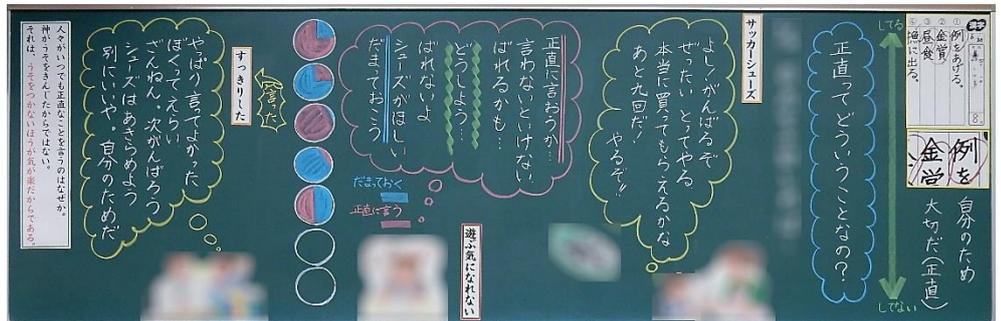
また、教師が児童生徒の考えを取り入れ、**児童生徒と共につくっていくような創造的な板書**となるように心がけることも大切です。



【板書を生かす工夫例】

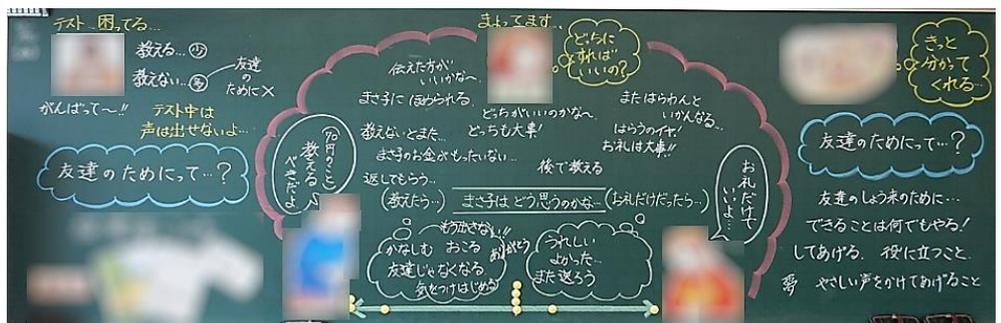
◆順接的、時系列的な板書

縦書きの構成で右から左へと進んでいく板書です。読み物教材の時系列や場面の流れに沿った発問をする際に有効です。



◆中心部分にクローズアップした板書

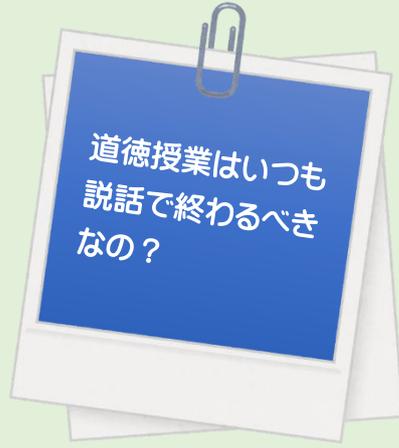
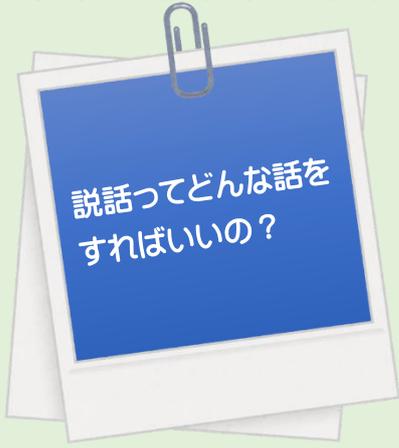
横書きの構成で左から右へと進んでいく板書です。読み物教材の中心的なテーマや中心発問に焦点を当てる際に有効です。



(その他) ◆児童生徒と共につくる板書 など

ポイント

- 道徳科の板書には、縦書きや横書きのきまりはありません。児童生徒が思考を深める手掛かりとなるような創造的な板書を心がけましょう。
- 発問の構成に合わせた構造的な板書を構成することが大切です。



みんな～！ 道徳的価値に正面から向き合っているか～！

ヒント 7 説話の工夫



教師が自らを語る説話には、**教師の人間性が現れます。**
だからこそ、**児童生徒との信頼関係が増し、児童生徒の心情に訴え、深い感銘を与えることができます。**



教師は、**説話の効果が大い**ことに鑑み、**説話の選択、内容の吟味、話の進め方やまとめ方などを工夫**することが大切です。
児童生徒への叱責、訓戒や行為、考え方の押し付けにならないように！

児童生徒が**ねらいの根底にある道徳的価値を一層主体的に捉え、人間としての生き方についての自覚を深めていけるような説話**がいいね。



- [説話の工夫例 (話題として考えられるもの)]
- ◆ 教師の体験や願い
 - ◆ 様々な事象についての所感
 - ◆ ことわざや格言、心に残る標語
 - ◆ 新聞、雑誌、テレビなどで取り上げられた問題
 - ◆ 地域の自然や伝統文化に関すること
 - ◆ 日常の生活問題
 - ◆ 児童生徒の関心や視野を広げる時事問題 など



説話は、授業の終末においてよく見られます。ただし、授業の終末が必ずしも説話でなければならぬというものではありません。以下のような終末も考えられます。

- ・ 本時を振り返り、本時で学習したことを今後どのように生かすことができるかを考える。
- ・ 道徳的諸価値に関する根本的な問いに対し、自分なりの考えをまとめる。
- ・ 感想を聞き合ったり、ワークシートへ記入したりして、学習で気付いたこと、学んだことを振り返る。 など

教師の意図、教材の特質等を踏まえ、多様な終末の工夫を行いましょ。

ポイント

- 説話は、児童生徒が道徳的価値をより身近に感じ、また、主体的に考えるきっかけとなります。児童生徒が、思考を深めたり、考えを整理したりしていけるようにするために、説話の選択(するかしないか等も含む)、内容の吟味、進め方等を工夫しましょう。



道徳科の授業におけるICTの効果的な活用



「考える道徳」、「議論する道徳」への質的な転換により道徳性を養うことが求められる道徳科の指導に当たっては、**道徳科の目標に示されている学習活動に着目して、より効果的に行われるようにするための手段としてICTを活用することが肝要です。**

道徳授業でICTを効果的に活用するってどうすればいいの？

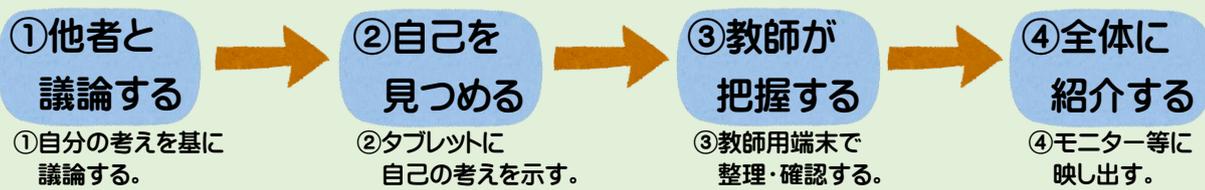
よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習**を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。()内は中学校

多面的・多角的に考えるための活用例



どの場面ですら効果が変わります…

自分自身との関わりの中で深める活用例



ICT活用の工夫例と活用場面例

- ◆実態や問題の提示(画像や映像、グラフ等) ◆教材の提示(画像や映像等)
- ◆自分の考えをもつ(タブレットに示す) ◆他者の考えを知る(タブレットで共有する)
- ◆自己を見つめる(タブレットに考えを蓄積する) ◆心情グラフ等の提示(タブレット等)
- ◆生活の様子、外部の方の言葉や話の提示(画像や映像等) など

ポイント

● 道徳性を養うことが道徳科の目的であり、ICTの活用は、そのための手段です。手段が目的にならないように留意しながら効果的に活用しましょう。

参考文献

小学校学習指導要領(平成29年告示)	平成29年3月	文部科学省
中学校学習指導要領(平成29年告示)	平成29年3月	文部科学省
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編	平成29年7月	文部科学省
中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編	平成29年7月	文部科学省
「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について(報告)	平成28年7月22日	道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議
特別の教科 道徳の指導における ICTの活用について	令和2年9月	文部科学省
https://www.mext.go.jp/content/20200911-mxt_jogai01-000009772_15.pdf		